

★KOBE KODOMO NIKONIKOKAI NEWS★

こうべ子どもにここ会ニュース

第8号 2010年度創刊号


東北地方太平洋沖地震では、
甚大な被害があり、被災された方々に
心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復興がなされることを
スタッフ一同お祈り申し上げます。

巻頭言

かんとうげん

大岡栄美さん（関西学院大学 社会学部 准教授）

つながりのちからを考える



昨今の日本は「つながり」の再生が一大ブームとなっている。ツイッターやフェイスブックなど、遠く離れた人や普段はあまり接点のない人とのつながりを可能にする技術の普及はさることながら、昨年夏の高齢者の行方不明問題など、「無縁化」への危機感がこの動きの根底には存在しているだろう。

安易な関係づくりに批判的な目を向けることも可能かもしれないが、たとえ最初は表面的であっても、自分の狭い生活世界を超え、いろんな人たちとつながることは重要だ。

それはわたしたちの想像力には限界があるからだ。何か問題が起きた時、「その人の身になって想像してみよう」とはよく言われるが、たとえ弱い絆でも自分自身が当事者とつながっていると感じられてこそより強い共感、速い行動に結びつく。

にここ会は昨年、2010年5月、地域とのつながりづくりを目指して、3年半ぶりに「深江多文化子どもまつり」を再開し、実行委員会の事務局を務めた。「おまつり」の準備過程の中で、地域の様々なお店をまわり、ブログで情報を発信し、活動についての紹介を試みた。

小さな取組みかもしれないが、自分のすぐ隣近所でいろんなルーツをもった人々が暮らし、仕事も立場も異なる多世代の人々はその活動を応援しているということを伝えることで、想像を超えた共感の輪を広げる第1歩になったはずだ。

現在、日本は阪神淡路大震災を超える未曾有の事態に直面している。「がんばろう！ニッポン」のメッセージが呼びかけられ、『日本人』なら立ち直れる」というナショナリズムが鼓舞されている。その感傷の中で、日本には様々なルーツをもつ人が暮らしており、大きな声をあげられない人たちへの多面的な支援が必要という視点は決して見失われてはならない。にここ会を起点とするさまざまなつながりの輪の中から、こうした情報発信もなされていく必要がある。

日本語・教科支援教室、母語支援教室での日常的な活動はもちろん、より一層多くの人とのつながり、サポーターの輪を広げるような情報発信、イベントを実施ができるよう2011年度も活動していきたい。

日本語・教科支援教室

木・土
16～18時

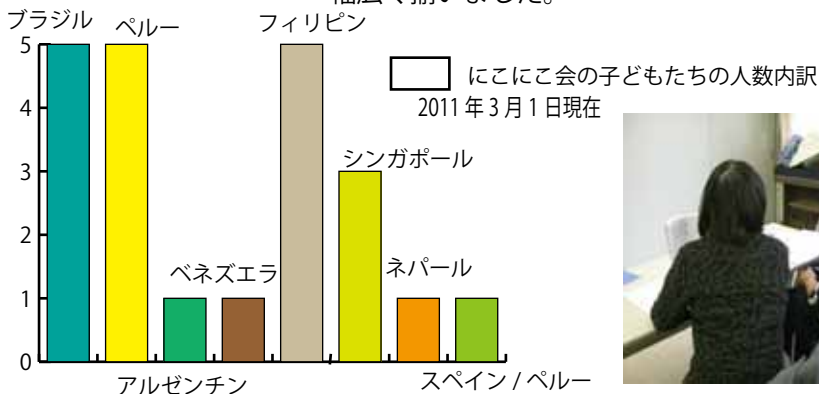
@本庄地域
福祉センター

子どもたちの人数が増え、さまざまなルーツを持った子どもたちが学びに来ています。
(下記グラフ参照)

低学年が多く、宿題だけではなく絵本を読んだり、漢字や九九カルタなどをして楽しく学んでいます。

また、高学年や中学生の子どもたちは教科学習が難しく、ボランティアと一緒に教科書と教科書ガイドを片手に悪戦苦闘している姿が見られます。

2010年度は図書を充実させることができ、図鑑や辞典、なぜふしぎの身近な科学絵本、6年生の時みんなが苦勞する日本の歴史漫画全巻など子どもたちが自ら読んでみたい！と思えるようなものから、漢字教材や読解ドリルプリントなど日々の学習に役立つ教材まで幅広く揃いました。



子どもたちの数が
日に日に増えています。

特に土曜日のボランティア
数が足りていません。

少ないのに、さらに
年度末で卒業や異動の
時期などでまとまった
人数が抜けてしまいました。

子どもたち一人一人への
サポートを大切にしたい。
ご協力をよろしくお願いいたします。

日本語・教科支援教室ボランティア募集！

毎週木曜日または土曜日

16:00~18:00 交通費支給(規定に準ずる)

ボランティアオリエンテーション随時開催中

kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

同時募集！！

*チラシを置かせて頂けるところ

配布させて頂けるところ

*広報をさせていただける機会

(セミナー開催時、授業、MLなど)

藤戸直美さん（パラグアイ）を講師に、ロサクリサキさん（ペルー）をアシスタントとして1年間計35回開催しました。1年生から6年生までの子どもたち、12名が元気よく学びました。スペイン語圏とはいえど、背景はさまざま。アルゼンチン、ペルー、ペルーとブラジルのダブル、パラグアイなど。学年によって授業が終了する時間が異なり、スタートする内容も一様ではありませんが、クラスとはまた違った形のありのまま

★KOBÉ KODOMO NIKONIKOKAI NEWS★

こうべ子どもにこにこ会ニュース

2010年創刊号第8号（2011・5）

発行 こうべ子どもにこにこ会

clase de espanol
スペイン語母語教室

月 15:00 ~ 16:30
@本庄小学校会議室



の自分を知っていてくれる場所、分かってくれている場所としてみんなで共有できる時間が大好きです。クリスマス会や、卒業祝いパーティーなどには小学校の先生方も参加していただき、手作りのケーキを食べながら楽しいひとときを過ごしました。2010年度は日本語・教科支援教室同様、教材が充実しました。

兵庫県の母語教育センター校として、本庄小学校に当会が協力する形でのコラボが再開して1年。県の事業が終わり、次年度から新たなスタートとなります。

12月

にこにこパーティ



宗教上の理由で、クリスマス会改め、にこにこパーティとして開催して2年目。今年も日本語・教科支援教室の子どもたち、母語教室の子どもたち、保護者、ボランティア、普段お世話になっている方もみんないっしょに盛り上がりました。恒例のペスカリアは、麦わら帽子をかぶってのリレーに。

お母さんたちもキャーキャー★ 笑
そして、当会のOG含め、県立国際高校の学生さんが 名、CCU という社会貢献の授業の一環としておはしを使ったユニークな劇+ゲームなどの企画で、パーティを盛り上げて頂きました。次号インタビューお楽しみに



その他の活動報告



7月
七夕まつり
(本庄まち協)
@本庄地域福祉
センター前



夏まつり
@東灘小学校

浴衣体験

和だんすごっさんの
ご協力を頂きました



8月
EDU COLLE
出展
@大阪 YWCA

多様な共育の
博覧会

宿題教室
@事務所



5月

深江多文化子どもまつり 2010
(深江多文化子どもまつり実行委員会)
@深江会館



あいにくの豪雨
(翌日は大雨警報に
よる休校でした・・・)
次への課題がたくさん
見つかったよいおまつり
となりました。前進★



10月

本庄小学校5年生
へのプレゼン
「にこにこ会や
子どもたちについて」



「お母さん」や「本人」から自分の国について教えてもらった。
では実際にそのクラスメイトとどう向き合っていけばいいのだろうか
にこにこ会はなにをしているところ?

なんで日本語がしゃべれているのにサポートが必要?
みんなにしてもらってうれしいこと



11月

深江まちあるき
(多文化チャレンジ隊)

〒658-0022

こうべ子どもにこにこ会ニュース 神戸市東灘区深江南町 4-12-20-201
第8号 2010年創刊号(2011・4)

TEL&FAX 078(453)7440

発行: こうべ子どもにこにこ会

EMAIL kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

URL <http://nikoniko.gee.jp/>